

至誠館大学

科目名	保育実習Ⅱ(前半)			コード	1331		
英語表記	nursery training Ⅱ						
担当教員名	国広 勝代・石川 正一			年度	平成28年度		
基準年次	4年次	開講期	通年	単位数	2		
授業形態		授業形式	実習	履修形態	選択必修		
授業概要							
保育実習Ⅰで学んだ実習体験を生かし、本実習では知識・技能を高めることを目的とする。具体的には、保育実習Ⅰにおける保育所の実習で行った観察・参加・部分実習に加え、実際に一日の指導計画を立案して保育を行う。全日の保育に当たり、子どもの実態を捉え、そこからねらいや内容を導き出して計画を立案し、環境設定や準備を行う。そして、計画と実践の相違点を実感したり、臨機応変な対応の必要性などを体験的に理解していく。							
到達目標							
・保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。							
・既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。							
授業計画							
第1回							
第2回	【保育実習】						
第3回	保育所・・・・・・・・・・10日						
第4回							
第5回	《事前》						
第6回	・保育所実習にあたっての心構えを確認する。(「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」を受講)						
第7回							
第8回	《実習中》						
第9回	・各保育所の方針に従って実習を行う。						
第10回	・保育実習担当教員による巡回指導を受ける。						
第11回							
第12回	《事後》						
第13回	・実習をふりかえり、「保育実習報告Ⅱ」を作成する。						
第14回	・保育実習報告会で体験報告をする。						
第15回							
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
実習園の評価を基にしながら実習日誌の記録、巡回指導時の実習態度で評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	30	70	0	0
授業外学習			テキスト、教材				
参考書			受講生へのメッセージ				
大場幸夫・大嶋恭二編著「保育実習13」ミネルヴァ書房							
今井和子編著「記録の書き方 評価のしかた」ひとなる書房							
キーワード							
保育所実習 計画 実践 評価							